げろ 議会だより

No.85
令和7年 8月1日

TOPICS

- 新体制でスタート（正副議長就任あいさつ・委員会構成・活動方針）
- 4月臨時会・6月定例会報告（審議結果）・委員会報告
- 一般質問（これって、どうなってるの？）
- 令和6年度政務活動費の交付実績、9月定例会日程

表紙の写真

【下呂市中学生姉妹都市交流事業　中学生海外派遣団合同報告会】

令和７年５月24日、下呂市中学生姉妹都市交流事業として３月末から約２週間にわたり海外派遣を行った「第36回ケチカン市派遣団」（９名）と「第30回ペンサコーラ市派遣団」（20名）による合同報告会が行われました。

派遣団の皆さんは、現地での貴重な体験を通して得た学びや感動を発表してくれました。

下呂市議会 新体制でスタート

副議長
森　哲士

このたび、副議長に就任させていただきました。

議会運営を円滑に進めるための議長の補佐役であると同時に、議会内外の調整や意見交換を大切にするのが役割だと考えています。市民の皆さまからいただいたご意見を元に誠心誠意、職責を果たしていく所存です。

議会制民主主義に基づく二元代表制の一翼を担う議会として、是々非々の立場で、チェックとバランスを堅持していく必要があると考えています。

今年度から第三次総合計画が開始され、挑戦の年と位置づけ、持続的な成長と市民の幸福の実現に向け、必要な政策を進めていくための重要な一年となります。

議会は市民の皆さまの意見を反映させ、地域の課題解決に向けた重要な場であります。議員一人一人が互いを尊重しあった上で意見を述べ、建設的な議論ができる環境づくりに貢献したいと考えます。

本市が活力ある持続可能なまち、選ばれるまちとして発展して行くこと、また、議会運営において、どのような課題にも真摯に取り組み、議会を運営し、今後、一層、市民の皆さまに信頼される議会であるよう、取り組んでいきます。

議　長
中島達也

下呂温泉の宿泊者数がコロナ前に戻ったと聞いています。

下呂市の牽引役を担う観光業の活況は明るい話題です。10月から導入される宿泊税がインバウンド施策や市内の広域観光など、さらなる観光振興につながるよう議会として見守りたいと考えます。

また、議会は議会基本条例に基づき、市民の皆さまのご意見を市政に反映するために委員会で議論を深め、政策の立案、提言を行っていきたいと考えています。そのために市民の皆さまとの意見交換会の開催や直接声を届けていただける取り組みも行っています。今後もさらに開かれた議会を目指します。また、議会運営のデジタル化にも取り組んでいます。タブレット端末によるペーパーレス化と共に議員間の情報共有や日程調整を行っています。併せて、有事を想定したオンライン会議の試行も始めました。新たな時代に対応できる議会を目指します。

民生教育まちづくり常任委員会

委　員
下平裕次郎

委　員
桂川融己

委　員
大西尚子

委　員
鷲見昌己

委　員
森　哲士

副委員長
高井範和

委員長
中島ゆき子

総務産業建設常任委員会

委　員
桂川いずみ

委　員
田口琢弥

委　員
尾里集務

委　員
今井政良

委　員
中島達也

副委員長
加藤久人

委員長
田中喜登

各委員会の活動方針

◆民生教育まちづくり常任委員会

今年度、特に取り組む活動として、政策提言に向けた次の3点について調査研究をしていきます。

①安心できる地域医療について

高齢化が進む下呂市において、安心して住み続けることができる医療体制の確保、医療人材の育成についての調査研究。

②廃棄物処理について

ごみのリサイクル等を調査研究し、約20年後の新クリーンセンター建設を見据えた事業のあり方を協議。

③移住定住について

空き家の活用、女性が活躍する魅力ある地域づくり等、多岐にわたる取り組みについての調査研究。

また、昨年12月に市長に提出した政策提言への市の対応策についても、事業の進捗状況を確認していきます。

◆総務産業建設常任委員会

今年度は特に次の3分野を調査研究対象とし、集中して取り組みます。

①危機管理分野

・国土強靭化に向けた国・県の動向調査
・市内の強靭化に向けた研究（う回路・沿道伐採含む）

②観光商工分野

・下呂温泉街以外の地域の現状調査
・宿泊税に関する調査研究

③農林業分野

・中山間地域の農業の活性化に関する調査研究

各分野とも関係団体の皆さまとの意見交換を積極的に行い、課題解決に向け現状を正しく把握することにも努めていきたいと考えています。

昨年度よりさらに一歩踏み込んだ、より制度設計に近い具体的な提言を執行部に提示することができるよう活動していきます。

◆予算決算常任委員会

当市議会では、決算審査によって明確になった課題等をその後の予算審査に活かし、より良い政策に結びつけていくため、予算と決算を総合的・一体的に審査する体制として、「予算決算常任委員会」を設置しています。

なお、新年度予算案については、各事業の妥当性・有効性・公平性が確保されているものになっているか、市民の皆さまの声を反映し、市の諸課題の解決につながるものとなっているかなどの視点で審査を行います。

併せて、突発的な災害対応や経済情勢の変化等に対応するための補正予算案については、財源の確保はどうなっているか、緊急性を要するものかなどの視点で審査します。

また、前年度の決算については、各事業における目標の達成度、市民サービスとしての充実度、効果的・効率的な予算執行がなされているかなど、慎重に審査し、その審査結果を踏まえ、次年度予算に反映すべく政策提言へとつなげるよう努めていきます。

◆議会運営委員会

定例会と臨時会の会期や議案の取り扱いなどの議会運営全般について協議し、意見調整を行います。

また、市民の皆さまや団体等からの請願や要望の取り扱いの協議を行います。

◆下呂温泉街整備特別委員会

令和6年度に引き続き「下呂駅および旧下呂温泉病院本館跡地整備」と「歴史的資源を活用した景観まちづくり事業」の2項目を調査・検討していきます。

下呂温泉の玄関口である駅周辺整備と跡地利用の具体化、歴史的景観を活かしたまちづくり事業の着実な推進について、市民の皆さまの意見を反映すべく多角的に審査し、将来にわたる下呂温泉街の魅力向上と持続可能なまちづくりに向け、活発な議論を行い、積極的に提言していきます。

◆濃飛横断道・リニア特別委員会

濃飛横断自動車道は、郡上市八幡町から下呂市を経由し中津川市へ至る全長約80キロメートルの高規格道路で、中央自動車道と東海北陸自動車道を結ぶ重要路線です。高速道路の空白地帯である下呂市を補完し、地域間連携や県土の強靭化に資する路線として、１９９４年12月16日に計画路線に指定されました。さらに、リニア中央新幹線・岐阜県駅（中津川市）へのアクセス向上にも寄与し、その効果を県全域へ波及させる役割も期待されています。

しかし、下呂市～中津川市間は依然として計画段階にとどまり、国道２５７号の一部改良が示されてはいるものの、「下呂工区」の整備は未着手のままです。

昨年度は下呂市・中津川市・郡上市・東白川村の3市1村による合同会議単独での要望活動を行うなど、積極的に働きかけてきました。

今年度は、市民との意見交換や議会内での共有、期成同盟会との連携をさらに深め、「オール下呂」の体制で気運を高めつつ、下呂～中津川間を30分でつなぐ自動車専用道路の早期全線開通に向け、国や県への継続的な要望活動とともに、地域一体となった世論の醸成と合意形成を図りながら、実現に向けた機運を高めていきます。

◆議会改革特別委員会

当市議会では、議会および議員の役割と責任を明確にし、市民の皆さまの負託に応えることを目的として、「議会基本条例」を制定しています。この条例に基づき、市民主権に根ざした主体的な議会活動をはじめ、市民に開かれ参加を促す仕組みの整備、執行機関との政策競争の姿勢の確立、議員間討議を重視した活発な議論の展開、議員の資質向上による議会機能の強化、さらには条例運用状況の検証と必要な見直しなどに着実に取り組んでいきます。

今年度は、開かれた議会の実現に向けて、広報・広聴活動のさらなる充実、議員の資質向上に資する政治倫理規定の確立、市民にとってわかりやすい一般質問の工夫、多様な人材が参画しやすくなるよう、選挙時の負担軽減に資する選挙公営制度の拡充などを重点的に進めていきます。また、議員個々の活動にとどまらず、市民の皆さまから寄せられた課題や問題意識は議会全体で共有し、議会としての総合力をもって応えていけるよう体制の強化にも努めていきます。

これからも、市民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、信頼される議会、そして市民の暮らしに寄り添い、ともに未来を築く議会を目指します。

◆広報広聴特別委員会

「議会って、なんだか難しい」「何をしているのかわからない」

そんな声を少しでも減らしたい。広報広聴特別委員会では、「わかりやすさ」を大切に、親しみやすく参加しやすい広報・広聴のあり方を考えて活動していきます。市民の皆さまにとって、もっとも身近に議会を感じてもらえる窓口、それが広報広聴の役割です。

年４回発行の『議会だより』では、議会でどんな話し合いがあったのか、まちのこれからに関わる動きなどを、できるだけわかりやすくお届けします。ユーチューブでの動画配信や、スマホから見られる二次元コードなども活用し、気軽に議会に触れていただける工夫を続けていきます。

今年度は、議会からも積極的にテーマを投げかけ、市民の皆さまと地域の課題を一緒に考える、そんな双方向の場を少しずつ広げていこうと考えています。また、子どもたちにも議会をより身近に感じてもらえるよう、学校との連携や出前授業などについても検討を進めていきます。

「伝える」だけでなく「声を聞く」ことを大切に、開かれた議会を目指して一歩ずつ進めていきます。

委員会の構成メンバー

◆予算決算常任委員会
田口　琢弥（委員長）
尾里　集務（副委員長）
他、議長を除く全議員

◆議会運営委員会
今井　政良（委員長）
鷲見　昌己（副委員長）
加藤　久人　　田口　琢弥
田中　喜登　　尾里　集務
中島ゆき子

◆下呂温泉街整備特別委員会
田口　琢弥（委員長）
尾里　集務（副委員長）
他、議長を除く全議員

◆濃飛横断道・リニア特別委員会
鷲見　昌己（委員長）
加藤　久人（副委員長）
大西　尚子　　桂川いずみ
田口　琢弥　　田中　喜登
今井　政良

◆議会改革特別委員会
鷲見　昌己（委員長）
桂川　融己（副委員長）
高井　範和　　田口　琢弥
田中　喜登　　中島ゆき子
今井　政良

◆広報広聴特別委員会
桂川　融己（委員長）
下平裕次郎（副委員長）
森　　哲士　　田中　喜登
中島ゆき子

4月臨時会の報告

4月30日、令和7年第3回下呂市議会臨時会を開催し、専決処分された条例改正の承認、教育委員会委員の任命の同意、定額減税補足給付金事業等に係る一般会計補正予算について可決しました。

また、議長選挙、副議長選挙を行い、議長に中島達也議員、副議長に森哲士議員が選出されました。この他、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員の選任などを行いました。

上程議案と審議結果

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。（右の二次元コードを読み取るとホームページが閲覧できます）

○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
専決処分の承認について（下呂市税条例及び下呂市宿泊税条例の一部を改正する条例）	—	承認（全会一致）
下呂市教育委員会委員の任命について	—	同意（全会一致）
令和7年度下呂市一般会計補正予算（第1号）	—	可決（全会一致）

○賛否が分かれた議案【市長提出議案】

○…賛成　×…反対

議案名	議員名														付託委員会	審議結果
	下平裕次郎	桂川融己	大西尚子	高井範和	桂川いずみ	加藤久人	鷲見昌己	田口琢弥	森哲士	田中喜登	尾里集務	中島ゆき子	今井政良	中島達也		
専決処分の承認について（下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	—	承認（賛成多数）

★4月臨時会の議案の提案説明から採決までの映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。

議案審議の詳細
令和7年4月30日
（臨時会本会議）

6月定例会の報告

6月6日から6月27日までの22日間において、令和7年第4回下呂市議会定例会を開催しました。

初日には、大阪・関西万博「岐阜県の日」出演団体支援に係る補正予算の専決処分の承認、小中学校で使用するタブレット端末の更新に係る財産の取得、国民健康保険事業におけるシステム改修に係る補正予算について可決しました。

また、最終日には、条例改正、各種計画の変更・策定、消防車両に係る財産の取得、一般会計・特別会計に係る補正予算などについて可決しました。

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。（右の二次元コードを読み取るとホームページが閲覧できます）

上程議案と審議結果

※付託委員会略称
まちづくり：民生教育まちづくり常任委員会
予 算 決 算：予算決算常任委員会

○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	付託委員会	審議結果
専決処分の承認について（令和7年度下呂市一般会計補正予算（第2号））	—	承認（全会一致）
財産の取得について	—	可決（全会一致）
令和7年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	—	

○（引き続き）全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議　　案　　名	付託委員会	審議結果
下呂市過疎地域持続的発展計画の変更について	まちづくり	可　決 （全会一致）
小坂町湯屋大洞辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について		
下呂上原辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について		
金山町北部辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について		
子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令に伴う関係条例の一部を改正する条例について		
令和７年度下呂市一般会計補正予算（第３号）	予算決算	
令和７年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第２号）		
令和７年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）		
令和７年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第１号）		

○全会一致で可決した議案【市長提出議案（最終日追加提出）】

議　　案　　名	付託委員会	審議結果
財産の取得について	—	可　決 （全会一致）
財産の取得について	—	
下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	—	
令和７年度下呂市一般会計補正予算（第４号）	—	

○報告案件

議　　案　　名
令和６年度下呂市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
令和６年度下呂市水道事業会計予算繰越計算書の報告について

○全会一致で可決した議案【委員会提出議案】

議　　案　　名	付託委員会	審議結果
下呂市議会会議規則の一部を改正する規則について	—	可　決 （全会一致）
下呂市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	—	

6月定例会の議案審議の詳細

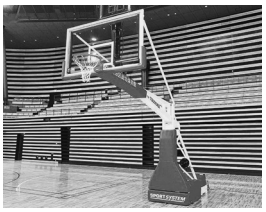
議第68号　　【全会一致で可決】

令和７年度下呂市一般会計補正予算（第３号）

（市長提出議案：予算決算常任委員会審査付託）

【主な補正内容】

●総務管理費
　下呂交流会館管理運営費臨時
　20,141千円増
　（過疎対策事業債充当）
　下呂交流会館移動式
　バスケットゴールの購入



▲移動式バスケットゴール

●社会教育費　図書館運営費臨時
　移動図書館車両購入　5,471千円増
　（コミュニティ助成事業助成金充当）
　移動図書館専用車両の購入

▲移動図書館専用車両

●総務管理費　公用自動車更新事業
　電気自動車関連購入　6,513千円増
　（クリーンエネルギー自動車等導入
　促進補助金充当）
　プラグインハイブリット車両と
　給電器の購入

▲プラグインハイブリッド車

★６月定例会の議案の提案説明から採決までの映像を動画共有サービス「ＹｏｕＴｕｂｅ」にて視聴できます。

議案審議の詳細
令和７年６月６日
（定例会初日）

議案審議の詳細
令和７年６月27日
（定例会最終日）

民生教育まちづくり常任委員会

6月23日、定例会初日に付託された5議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《小坂町湯屋大洞辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について》

（小坂町湯屋大洞辺地に係る公共的施設を総合的かつ計画的に整備を推進するため、総合整備計画を策定するもの）

問 「ふれあいの森」の整備の内容は。

答 築30年以上経過しているバンガロー11棟の屋根の修繕、食事の提供と食材の販売ができるように管理棟・調理棟などの一部改修、通年営業に向けて水道管の凍結防止を行う計画となっています。

問 「ふれあいの森」の今後の収益の見通しは。

答 売上1500万円、入込数3千人を目標としています。

▲ふれあいの森

委員会付託案件の審査内容を動画共有サービスYouTubeにて視聴できます。

予算決算常任委員会

6月25日、定例会初日に付託された4会計の補正予算議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《公用自動車の更新について》

（公務に使用するプラグインハイブリッド車1台、および車両から外部電気機器に電力供給する給電器を購入することで、脱炭素化の推進、燃料費の削減、さらには災害時における避難所の非常用電源としての活用により防災力の強化を図るもの）

問 避難所等の建物へ直接電力供給するV2Hシステム設備は、整備する予定か。

答 今回は、建物への電力供給設備の整備は行わないが、可搬式の外部給電器を1台購入し、プラグインハイブリッド車の充電口につないでAC電源として使用する運用を考えています。

《移動図書館の運営について》

（図書館への来館が困難な地域への読書機会を提供し、図書館のサービスをより多くの人に届けるため、移動図書館に使用する専用車両を整備し、令和8年度から専用車両による定期的な巡回などを目指すもの）

問 専用車両を整備するに至った経緯は。

答 馬瀬地域で移動図書を実施した際に、本を箱で運ぶなど職員の負担も大きく、持ち込める本の数も限られるといった課題があり、これまで専用車両導入に向け検討を行ってきました。自治総合センター助成制度を活用すれば、ほぼ全額の導入支援が受けられることから、継続して助成申請を行う中で、今回事業採択が得られ補正予算に計上させていただきました。運用に当たっては、馬瀬地域に限らず、市内各地域で巡回ステーションを選定していく考えです。

《新奨学金制度について》

（新たに創設した「下呂市みらい奨学金制度」について、学生にとって、より充実したものとなるよう、市が利子を負担する期間を在学中に加え、卒業後4年まで拡大するため、債務負担行為の限度額を補正するもの）

問 利子補給期間を延長した理由は。

答 奨学金業務委託に関するプロポーザルを受け、日本学生支援機構の奨学金制度の金利も十分に意識させていただき、これよりも軽減されるような形で、在学中プラス4年間という考え方を取らせていただきました。

委員会付託案件の審査内容を動画共有サービスYouTubeにて視聴できます。

濃飛横断道・リニア特別委員会

6月13日、特別委員会を開催し、担当部局から、濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会における令和6年度の活動報告として、岐阜県議会議員連盟、三市一村議会委員会合同会議の3者合同で開催した促進大会の状況や、8月と10月に実施された要望活動についての報告がありました。

また、令和7年度の合同促進大会の開催内容および要望活動の計画についても説明がありました。

下呂温泉街整備特別委員会

6月25日、特別委員会を開催し、市長および担当部局から、都市政策関連事業の進捗状況等について報告を受けました。

国庫補助金の内示額が低く市費対応や事業の見直しにより推進されることや、景観まちづくり協定の締結、街なみ環境整備事業補助金の開始、下呂市と民間都市開発機構による「共助推進型まちづくりファンド」の創設、下呂温泉街整備検討委員会を開催し駅周辺整備に関する意見交換を実施したことなどについて説明がありました。

6月定例会 一般質問

これって、どうなってるの?

[市民に代わって 議員が市政を問う]

議員が市長をはじめとした執行部に対して、執行状況や将来の方針、課題や疑問点など行政全般について報告や説明を求めたり、質問することを一般質問といいます。

鷲見昌己
- ☐ 学業の選択肢拡大に向けた通信制大学との連携
- ☑ 居宅介護サービス等事業者への移動支援助成制度の創設
- ☐ 防災行政無線での地域情報発信とスマートフォン連携

桂川いずみ
- ☑ 特別養護老人ホーム等の施設介護サービスの現状
- ☐ 人口減少対策としての結婚支援対策

加藤久人
- ☑ 自治会からの要望に対する対応
- ☐ 医師確保に関する対策

森 哲士
- ☐ 公用車の車両管理と日常・法定点検
- ☑ 旧湯屋小学校の今後の利活用

中島ゆき子
- ☑ 少子化が進む中での小中学校のあり方
- ☐ 2027年の蛍光管製造禁止に備える取り組み

田中喜登
- ☑ これからの地域社会のあり方
- ☐ 民生委員・児童委員の活動

高井範和
- ☑ 地域おこし協力隊の活用
- ☐ 市役所の職場環境の改善

田口琢弥
- ☐ 外国籍の子どもたちや保護者への対応
- ☑ 医師確保対策としての招へい活動

下平裕次郎
- ☐ 災害時防災協定の実効性向上と拡充に向けた取り組み
- ☑ 保育士の働き方改革と業務負担軽減

桂川融己
- ☑ 二地域居住という新しい暮らし方への取り組み
- ☑ "関わるきっかけ"と受入体制づくりによる関係人口の創出

大西尚子
- ☐ 人口減少対策につながる子育て支援
- ☑ 介護予防事業と骨粗鬆症検診の導入と市民への啓発
- ☐ 部活動の地域展開
- ☐ 飛騨萩原駅の運営

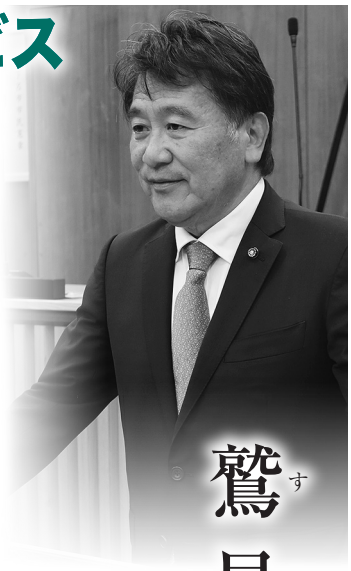
尾里集務
- ☐ 緊急経路の整備
- ☑ 下呂・馬瀬トンネルの開通を目指して

今井政良
- ☑ 竹原出張所のあり方
- ☐ 防災関係補助金の見直し

☑ チェックしてある項目を次ページ以降に掲載

議員の写真下の二次元コードから各議員の一般質問の映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。

地域で支える持続可能な居宅介護サービス



鷲見昌己（すみまさみ）議員

一般質問・答弁の映像はこちら

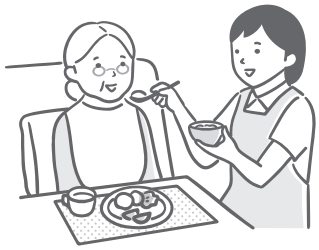
問 広大な市域での居宅介護サービス提供に当たっては、事業者にとって、利用者宅へ向かうための移動距離や時間が長くなることが大きな負担になっている。こうした移動に要するコストを補助する移動対策制度の創設の考えは。

答 福祉部長

介護サービスの維持継続を第一に、現行の訪問介護への支援策を見直すと共に、事業者からの意見を集約しながら実態を把握し、独自支援の必要性を検証した上で、通所系サービス等への制度拡充も検討し、中山間地域の特性に対応した介護サービスの維持に真に必要な施策の構築を進めていきたいと考えます。具体的には、移動距離に応じた支援等も視野に入れ、効果的で市の実情に合った施策を検討していく方針です。

答 市長

居宅介護サービス事業者の皆さまが負担となっているサービス提供に伴う移動に対し、市としての支援は、当然ながら必要であると考えますので、さらに実情を精査し、実際の施策に結びつけていきたいと考えています。



住み慣れた地域で安心して暮らせるために

桂川いずみ（かつらがわいずみ）議員

一般質問・答弁の映像はこちら

問 市内および市外における施設系介護サービスの現状は。

答 福祉部長

市内の施設系介護サービスである特別養護老人ホーム（特養）・介護老人保健施設等の総定員は354名で、各施設とも受入可能数に対しほぼ満床の状態です。待機者は、複数施設に重複して申し込まれているケースもありますが、200名弱と見込んでいます。一方、市外の施設系介護サービス利用者は94名です。

なお、特養の待機期間は、全体の約70％が2年未満ですが、入所に当たっては、各施設に設置された入所判定委員会が介護の必要性や家族の状況等を評価・決定しており、すぐに入所できる方と長くお待ちいただく方との違いは、この入所の必要性の判断によるものが大きいと考えられます。

要介護3以上になったらまず特養へ申し込むという傾向があると伺っていますが、介護資源には限りがありますので、真にサービスを必要とされる方へ提供できるような体制づくりが今後の課題であると認識しています。

自治会からの要望の検討結果を明確に

加藤久人（かとうひさと）
議員

一般質問・答弁の映像はこちら

問 昨年の6月定例会での一般質問の際、「自治会からの要望に係る対応状況について、分かりやすく丁寧な回答ができるよう努めます」との答弁があった。しかしながら、国県への要望に関しては、「引き続き〇〇〇へ要望します」という回答が多く、以前と変わりなく決して明確な回答とは言えない。改善の余地があるのでは。

答 地域振興部長

一部の振興事務所においては、国や県からの回答が届いていない時点で、市からの回答だけで済ませていたということを確認しています。そのため、国や県における要望に係る検討結果が正確に伝わっていなかったという事実があり、大きな反省点と認識しています。

日頃の自治会長さんとのコミュニケーションの中で、国や県に対する要望事項の進捗状況等に関しても共有しておくことが必要だったかと考えます。

今後は、振興事務所を含め、自治会長さんとのコミュニケーションを深めながら、真摯な対応に努めていきます。

地域の集落拠点として旧湯屋小学校の活用を

森（もり）
哲士（てつし）
議員

一般質問・答弁の映像はこちら

問 老朽化した湯屋地区公民館に代わる施設整備が急務であるが、旧湯屋小学校ランチルーム活用の考えは。また、旧湯屋小学校敷地内に公の施設を集約し、集落機能を高める考えは。

答 小坂振興事務所長

湯屋地区公民館に代わる施設が必要であり、活用できる施設は旧湯屋小学校ランチルームだと考えます。旧ランチルームは立地も良く、耐震性も有し、十分活用できる遊休施設であると認識しています。従来の公民館機能に加え、多目的フリースペース等の新たな機能も考慮し、地域の皆さまのご意見を伺いながら管理方法も含め検討を進めます。

また、地域からの要望にもあるように、既に避難所機能を有する体育館とコミュニティ施設・防災拠点施設・消防施設を一体的に整備することで、集落機能維持に向けた最低限の拠点が確立できると考えます。

▲湯屋小学校校舎

少子化時代でのきめ細やかな教育を目指して

中島ゆき子 議員

一般質問・答弁の映像はこちら

問 少子化が進む中での「義務教育学校」のメリットとデメリットは。

答 教育長

「義務教育学校」とは、小学校と中学校の9年間を一つの学校として一貫した教育を行う学校です。

メリットとしては、9年間を一貫したカリキュラムで編成するため、児童生徒の発達段階に応じた指導が目の前で行えます。また、中学校の学習内容を小学校段階で指導するなど、柔軟なカリキュラム編成が可能になると同時に、児童が専門性の高い教員の指導を受けられる教科担任制が導入しやすくなります。社会性の育成においても、異学年交流が増えることで、思いやりや助け合いの気持ちが醸成されると考えます。

一方、デメリットとしては、小学校1年生から中学校3年生までの発達段階が大きく異なる子どもたちが同籍することにより、合同行事の運営や集会の持ち方等に配慮が必要となります。人間関係が固定され、新たな人間関係を築く機会が減少することによる問題が大きいと考えています。

持続可能な地域社会の実現に向けて

田中喜登 議員

一般質問・答弁の映像はこちら

問 人口減少や高齢化が進行する中、市民生活の最も基本的な基盤である地域をどのように活性化し、存続させていくかが大きな課題となっている。市は、地域の主体的な取り組みをどう支援していく考えか。

答 地域振興部長

自治会交付金の交付のほか、小規模自治会の統合あるいは旧学校区での地域運営組織の立上げに関する相談や調整に係る取り組みへの支援として、集落支援員配置による地域住民の意向調査や課題の洗い出し等を行っています。

答 観光商工部長

令和5年に下呂温泉観光協会が小坂地域で実証実験として行った「お手伝い旅」を市全域へ展開することを考えています。この取り組みは、観光を交えながら地域の困り事等のお手伝い体験を通して、下呂市への愛着を深めていただき、交流人口から何度も来たくなる関係人口へ発展させようとするものです。今後は関係部局や各地域と連携してプログラムづくりやマッチング支援等、観光客を地域のファンである関係人口につなげられるよう、体制の整備を進めていきます。

地域力を引き出す地域おこし協力隊の活用を

高井範和（たかいのりかず）
議員

一般質問・答弁の映像はこちら

問 地域の魅力的資源を再発見し発信するなど、地域おこし協力隊員の優れた視点と行動力には目を見張るものがあり、さらに多くの隊員が定住されていることは意義深いと考えるが、これまでの活動への評価と今後の配置方針は。

答 地域振興部長

下呂市における地域おこし協力隊員の定住率は80％で、全国の定住率56％と比べ高い数値になっています。任期終了後も市内で起業や就業され、地域活性化のために中心的な存在となっている元隊員も多いと承知しています。地域おこし協力隊は、直接定住に結びつき、外からの目線や若者の柔軟な発想により地域への刺激や活性化につながる有効な施策であり、高く評価しています。今後も地域のニーズを確認しながら、この制度を活用していきたいと考えます。

なお、来年度以降の配置検討に当たり、各振興事務所にてニーズ把握を行っているところですが、任期満了後における自立について、道筋が描けていないことから、隊員募集するところまでには至っていないのが現状です。

▲馬瀬地域で活躍する地域おこし協力隊

市民と来訪者の健康や命を守る医療の充実を

田口琢弥（たぐちたくや）
議員

一般質問・答弁の映像はこちら

問 市長は、令和3年度から令和6年度にかけて延べ17日40回以上、岐阜大学医学部を訪問し、医師不足解消に向けた招へい活動を精力的にされている。今後の下呂市の医療体制確保に向けた考えは。

答 市民保健部長

市長自らが岐阜大学医学部へ訪問することで、先生方との親密な関係を築き、医療に対する姿勢と医師を迎え入れる熱意を直接お伝えすることができていると感じます。

しかしながら、今後、地方における医師不足は一層深刻化することが予想され、特に、特定の診療科や若手医師の確保は喫緊の課題となっています。このため、定期的な訪問はもちろんのこと、医学生向け地域医療セミナーの参加への呼びかけ等、岐阜大学医学部とこれまで以上に連携を密にしたいと考えます。また、将来地域医療を担う志を持つ医学生の奨学金制度の継続や実習受け入れ等の育成支援を強化いたします。

これらを継続しながら、医師確保に向けたあらゆる可能性を追求し、地域医療提供体制の確保に最大限努力していきます。

保育士の負担軽減で質の高い保育の提供を

下平裕次郎 議員

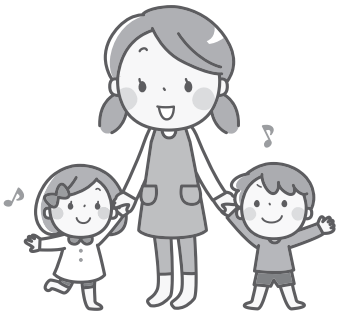
一般質問・答弁の映像はこちら

問 保育士の負担軽減を図るノンコンタクトタイム導入の考えは。また、こども園で運用中の保護者連絡アプリ「コドモン」のさらなる有効活用とデジタル化推進の観点から、保育士へのスマートフォンやタブレットの導入支援の考えは。

答 福祉部特命担当次長

ノンコンタクトタイムは、保育士の人員配置や園児への影響等、慎重に検討すべき課題があります。しかし、質の高い保育を維持するには、保育士の負担軽減が不可欠と考えます。このため、ノンコンタクトタイム導入の可能性も含め、先進事例調査や各園からの意見聴取を行い、保育士の業務時間軽減に取り組んでいきます。

また、コドモンは、連絡業務や業務日誌作成、写真配信等、保育サービス向上に貢献している一方で、新たな業務の発生や保護者と保育士の顔が見える関係が希薄になる可能性も懸念されます。今後は、保護者とのコミュニケーション機会の確保にも配慮し、デジタルとアナログの最適なバランスを見極め、より良い保育環境の実現を目指します。



※保育現場でのノンコンタクトタイムとは?
保育士が子どもたちと直接関わらず、書類や造作物の作成等の業務に費やすことができる時間。

関係人口と二地域居住の創出に向けて

桂川融己 議員

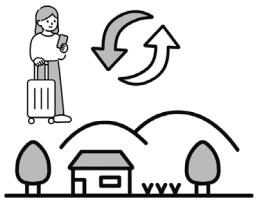
一般質問・答弁の映像はこちら

問 関係人口創出に向けた体制づくりと新たな暮らし方「二地域居住」への取り組みは。

答 市長

二地域居住の取り組みは、人口減少に対して重要な施策ですが、本市では、まずは市民の生活の質の向上、すなわちウェルビーイングの実現を重点的に行い、社会基盤や医療・福祉、子育て支援等を充実させることを目指します。その上で、二地域居住といった「攻め」の施策については、きっかけづくりや受け入れ体制の整備も含め、支援法人等に担っていただくよう、協力していただける方々の募集や連携の促進、予算投入を通じて支援していきます。

市としては、市民の生活の質が向上することで、移住者に来てもらえるよう居住環境の整備を進めていきます。人口減少対策は、第三次総合計画にも掲げた重点プロジェクトのひとつです。庁内連携をさらに深め、関係人口や二地域居住を担う体制づくりも視野に入れながら、今後も継続して取り組んでいきます。



※二地域居住とは?
都市と地方など、離れた2つの場所を拠点とし、それぞれの場所で一定期間を過ごすライフスタイル。

健康的で活動的な生活を長く続けるために

大西尚子（おおにしなおこ）議員

一般質問・答弁の映像はこちら

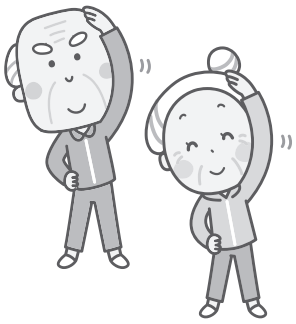
問 下呂市の高齢化率は40％を超え、健康寿命延伸と地域活力維持のためにも介護予防の強化が必要と考えるが、市の見解は。

答 福祉部長

高齢化の進行に伴い、要介護認定率も増加傾向にあり、令和2年度以降、県平均を上回る状況が続いています。その背景には、認知症や転倒・骨折といった加齢に伴う心身機能の衰えによって現れるさまざまな症状が大きな要因として挙げられます。

こうした現状を踏まえ、介護予防を個人の健康問題としてだけでなく、市の将来に関わる重要な課題と捉えており、介護予防を推進することで、健康寿命を伸ばすことはもちろん、医療費や介護費の抑制、さらに高齢者の社会参加を通じた地域活力の維持等、多岐にわたる効果が期待できることから、介護予防を重要施策として位置付けています。

こうした認識のもと、特に介護認定区分において比較的軽度の方に多い運動器疾患に着目し、健康寿命の延伸を目指し、活動的な生活を維持できることを目標とした取り組みを展開しています。



下呂・馬瀬トンネルの開通を目指して

尾里集務（おざとあつむ）議員

一般質問・答弁の映像はこちら

問 馬瀬と萩原を結ぶ新日和田トンネルは、幅員が狭く大型車同士のすれ違いにも苦慮している中、地域住民の利便性向上と観光にも大きく寄与することになる「下呂・馬瀬トンネル」の整備の考えは。

答 市長

馬瀬地域の孤立対策を考えた時、もう1本のトンネルか道路が必要であることは明白であり、将来を見据えて整備を進めたいと考えます。なお、トンネルは大事業となるので、早く計画路線に位置付ける必要があります。ただし、国県への要望としては、金山町の陸閘門に係る交通対策としてのトンネル整備が優先順位として非常に高く、また、濃飛横断自動車道下呂・中津川間のルート決定と事業化を県に強く迫っていく必要がありますので、それらの次に「下呂・馬瀬トンネル」の話を土俵に上げていきたいと考えています。

また、観光面においても、喉から手が出るほど欲しいルートであり、昇龍道としての機能がさらに際立つものと考えます。夢ではなく現実の問題として取り組んでいきたいと考えます。

▲新日和田トンネル

※昇龍道とは？
主に中部地方における南から北へと縦断する広域観光周遊ルート。

竹原地区に「下呂市南部振興事務所」の設置を

今井 政良 議員

一般質問・答弁の映像はこちら

問 竹原・上原・中原地区における地域振興を総合的に支援する仮称「下呂市南部振興事務所」設置の考えは。

答 市長

振興事務所というものは、本庁から離れた地域で、市民サービスや地域振興支援が届きにくいことから設置されているものと考えます。

下呂地域の中心部に位置する現在の下呂振興事務所職員を地域振興課と竹原出張所のそれぞれに分散配置し、さらに集落支援員もその中に含めることで、竹原・上原・中原地区の地域振興に関するきめ細かな対応ができるのではないかと考えます。

これはすぐに実現できるものではありませんが、竹原・上原・中原地区に、もう少し目を届かせる必要があると個人的には考えています。

振興事務所となると所長の配置等が必要になりますので、2年、3年の試行期間をもって、その中で今後の方針を判断させていただきたいと考えています。

いずれにしても、来年度は試行したいという気持ちはありますが、確定したことではありませんので、その点だけご承知いただきたいと思います。

▲竹原出張所

金山小学校議場見学

6月12日、金山小学校6年生の児童35名の皆さんが社会科の校外学習として下呂市議会の議場見学に来てくれました。

議員席や執行部席に座り、議会の仕組みなどについて説明を受けた後、「税金は何に一番使われていますか？」、「条例は全部でいくつありますか？」などのたくさんの質問をいただきました。

実際に議場の中で見たり聞いたりしながら議会のことを学び、自分たちの暮らすまちや市について、未来に向けて考えるきっかけになったのではないでしょうか。

議会改革研修会を開催しました

7月3日、議会基本条例の規定に基づき、議員全員を対象とした研修会を開催しました。

研修会では、当市議会のアドバイザーを委嘱している高沖秀宣氏（自治体議会研究所代表・元三重県議会事務局次長）を講師にお招きし、『議会力の強化～令和6年度における議会基本条例検証結果を踏まえ、下呂市議会の向かうべき方向を考える～』をテーマに講義をいただきました。

市民の皆さまの声を反映した地域課題に対する政策立案・政策提言などに議会として積極的に取り組んでいくに当たって、講師からは、他の議会における成功事例を参考にした具体的な進め方等についてお話があり、理解を深める機会となりました。

令和6年度政務活動費の交付状況をお知らせします

政務活動費とは、議員の政策形成能力の向上、および議会の審議機能の強化を図るため、議員が市政に関する調査研究活動（政務活動）を行う際に必要な経費の一部として、議員または会派に対し交付されるものです。

政務活動費に係る実績報告書等については、下呂市ホームページにて詳細を公開しています。

◆下呂市議会政務活動費制度のポイント

- **適正と認められた実費だけを後日支給する完全後払い制としています。**
- **政務活動費の額は、議員1人当たり月額1万円（任期中のみ対象）を交付の上限としています。**
- **政務活動費を充てることができるのは、市政の課題および市民の意思を把握し、市政に反映させる活動、その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に限定しています。**
- **政務活動費に係る実績報告書等の公開・閲覧を行っていくことにより、政務活動費の使途の透明性の確保に努め、議員活動の見える化にもつなげていきます。**

◆令和6年度政務活動費交付実績一覧

（単位：円）

議員名	交付上限額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	実支出額合計	交付確定額
下平裕次郎	110,000	54,916							28,320	83,236	83,236
桂川　融己	110,000	41,670	27,130						44,589	113,389	110,000
大西　尚子	110,000		107,380						43,015	150,395	110,000
高井　範和	110,000		77,910						2,500	80,410	80,410
桂川いずみ	110,000	27,389								27,389	27,389
加藤　久人	110,000	52,030								52,030	52,030
鷲見　昌己	120,000		8,050		74,602					82,652	82,652
田口　琢弥	120,000									0	0
森　哲士	120,000	27,389							5,661	33,050	33,050
田中　喜登	120,000	27,389								27,389	27,389
尾里　集務	120,000			11,275					36,850	48,125	48,125
中島ゆき子	120,000			68,318					36,850	105,168	105,168
今井　政良	120,000	27,389								27,389	27,389
中島　達也	120,000	27,389							23,400	50,789	50,789
	1,620,000	285,561	220,470	79,593	74,602	0	0	0	221,185	881,411	837,627

※交付基準日は毎月１日のため、１期議員（任期４/18～）については４月は算定対象外（交付上限額は11万円）

編　集　後　記

議会をより身近に感じていただけるよう、新体制での議会だよりも工夫を重ねていきます。

本年度も、「市議会による出前ヒアリング（座談会）」を積極的に展開していきます。「ちょっと聞いてほしいことがある」「議会に伝えたいことがある」そんなご相談、大歓迎です！

申し込みはHPからでも、お近くの議員に声をかけてもらっても大丈夫です。どうぞお気軽にご利用ください。

9月定例会は、前年度に市が使ったお金＝決算について審議します。ぜひご注目ください！（Y・K）

市議会による出前ヒアリング（座談会）

「げろ議会だより」アンケート

「げろ議会だより」をお読みいただき、ありがとうございます。「読みたくなる議会だより」とするため、皆さんの声をお聞かせください。

右の二次元コードを読み取り、アンケートに回答をお願いします。

9月定例会会期日程（予定）

9月定例会の会期日程（予定）をお知らせします。なお、一般質問などの内容は新聞折込および下呂市メールでお知らせします。

月　日	曜日	会　議　内　容	時　間
9月　2日	火	本会議（初日）	午前9時30分～
16日	火	本会議（一般質問）	
17日	水	本会議（一般質問）	
18日	木	常任委員会	
19日	金	常任委員会	
22日	月	予算決算常任委員会（予算関係）	
24日	水	予算決算常任委員会（決算関係）	
25日	木	予算決算常任委員会（決算関係）	
26日	金	予算決算常任委員会（決算関係）	
30日	火	本会議（最終日）	

※日程は変更になる場合もあります。

場所：本会議（下呂庁舎３階議場）
委員会（下呂庁舎３－１会議室）

インターネットライブ配信

本会議および常任委員会（付託案件審査）は、動画共有サービス（YouTube）にてライブ配信を行っています。

https://www.youtube.com/channel/UCALIKRpFipq7Mtpr--rJGKQ/featured

ライブ配信動画は、次回定例会までYouTubeから視聴できます。
過去の配信動画は、下呂市ホームページにて視聴できます。